



令和4年 12月
NO. 161



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

師団集合教育「レンジャー」



～ついに手にした栄光のダイヤモンド～



各種行事・訓練

師団集合教育「レンジャー」
師団格闘集合訓練
16式機動戦闘車集合訓練
連隊市街地戦闘訓練
陸士特技課程「偵察」教育
方面隊衛生科集合訓練
伊丹市消防局合同特殊災害対応訓練
今津駐屯地創立70周年記念行事
西宮市立真砂中学校吹奏楽部演奏技術指導

第3師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人
3Dレディー
ただ今奮闘中
趣味あり☑

2府4県近畿の旅

京都府「御金神社」
～☆金運上昇のパワースポット☆～

職場の豆知識

「ちいさなこと」

表紙写真：師団集合教育「レンジャー」



ついに手にした栄光のダイヤモンド



記念撮影



連隊長によるレンジャーき章の授与



決意表明



隊員・家族からの温かい出迎えを受けて駐屯地へ帰還したレンジャー学生

佐々木 第36普通科連隊（連隊長 三島 1 佐）は12月9日（金）、師団集合施設「レンジャー」の帰還式を実施した。本教育は、陸上自衛隊で最も過酷な教育の一つとされ、レンジャー員として必要な資質を涵養することと、技能を修得させることを目的としたものである。この度、教育の総仕上げとなる最終想定任務を完了した第4期師団レンジャー戦闘隊の隊員が、駐屯地の隊員・家族の温かい出迎えを受けて伊丹駐屯地へ帰還した。帰還式では、学生長の磯田3曹が、連隊長に対して力強く報告を述べた。その後、レンジャー学生お多の健闘を称え合った。互いの健闘を称え合った。12月（月）にはレンジャーき章授与式が実施され、困難な状況にあっても任務を遂行する「固い意志」を表すダイヤモンド（硬い石）をあしらったレンジャーき章が連隊長から学生一人ひとりに対して授与された。連隊長は訓示において「諸官の胸に輝くレンジャーき章は、厳しい訓練を乗り越えた栄誉の証である。今後には本教育間で修得した技能及び戦力として活躍することを期待する」と述べた。



関節技が正しく極まっているか厳しく判定



特級検定を受検する隊員



不意急襲的に攻撃する敵への対人格闘

師団は、第7普通科連隊（連隊長 前野 1 佐）を訓練担任部隊として、令和4年11月21日（月）から令和4年度師団格闘集合訓練を実施中である。本集合訓練は、各部隊の格闘優技者に対して、指導者としての能力を向上させ、部隊の格闘指導官を育成する目的で行われている。12月7日（水）に特級検定が実施され、受検隊員は集合訓練で身に付けた知識と技能を遺憾なく発揮して検定に臨んだ。検定は、ミットへの打撃、小銃を携行しての受け身、各種関節技、不意急襲的に攻撃する敵への対人格闘などが行われ、検定官が各隊員の練度を厳正に評価・判定した。検定合格者は、後段の部隊格闘指導官認定試験へ向けた養成訓練に参加し、更に練度の向上に励む。

心・技・体を一つに





整地における操縦訓練



不整地における操縦訓練



射撃訓練

第3戦車大隊（大隊長 足立2佐）は、今年度末に新編される第3偵察戦闘大隊の準備に万全を期すため、11月初旬から、第15即応機動連隊が実施する16式機動戦闘車（MCV）集合訓練に参加中である。訓練の前段では、MCVの概要説明など、基礎的知識を身に付け、後段では、各種地形等における昼夜間の操縦訓練、実弾射撃練成等を行った。

第3戦車大隊は今後、も部隊新編に係る諸準備を着実に推進していく。



部隊新編に備えMCV基幹要員を養成



前後左右が連携しながらの組前進



建物内の索敵・掃討

第36普通科連隊（連隊長 三島1佐）は、連隊市街地戦闘訓練を実施した。

訓練では、建物への接近に続き、建物内の索敵・掃討、負傷者発生時における第一線救護要領等、一連の行動を強化した。隊員は、市街地における基礎的戦闘行動を反復演練し、着実に練度を向上した。



市街地戦闘能力の強化



夜間斥候（偵察地域への前進）



偵察命令の下達



はんごう炊飯



林内における偵察活動

第3偵察隊（隊長 鷹田2佐）は、陸士特技課程「偵察」教育を実施した。

本教育は、各普通科連隊、第3戦車大隊、第3偵察隊から集まった陸士に対し、斥候員として必要な知識及び技能を修得させるとともに、当該特技職に必要な資質を養う目的で行われた。

教育の前段で斥候員としての基本基礎を学んだ隊員は、後段の総合訓練において、昼夜間にわたる一連の偵察活動を実施した。厳しい状況においても、隊員が相互に切磋琢磨し、励まし合いながら与えられた任務を無事に完遂した。



斥候員としての偵察能力向上



傷病者への救急処置

第3後方支援連隊衛生隊(隊長 堀口3佐)は、12月13日(火)、千僧駐屯地で実施された方面隊衛生科集合訓練に参加した。この訓練は、衛生学校で実施している衛生科技術競技会の形式により、傷病者役は隊員とリアルな模型を併用して行われ、隊員は部隊の戦傷治療能力の向上を図った。



収容所治療に臨む衛生隊員



一人でも多くの命を救うために



汚染地域の標示



現地指揮本部での連携

第3特殊武器防護隊(隊長 泉2佐)は12月5日(月)、伊丹スカイパーク(兵庫県)において「伊丹市消防局合同特殊災害対応訓練」に参加した。訓練は、自衛隊、警察及び消防による共同の特殊災害対応能力の向上を目的として行われた。屋外で散布された有毒化学物質の種類を第3特殊武器防護隊が速やかに特定した後、「人員除染」及び「地域除染」などを関係機関と連携しつつ実施した。本訓練を通じ、特殊災害への対応能力の向上と関係機関との更なる連携強化を図った。



汚染地域の除染



汚染物質の特定



演奏指導を通じ自衛隊をPR



細かな技術指導



パートごとに分かれ演奏指導



フルートの演奏指導

第3音楽隊(隊長 今井1尉)は、西宮市立真砂中学校(兵庫県)において吹奏楽部員59名に対し、演奏技術指導を行った。演奏指導は、パートごとに行われ、隊員たちは各楽器の演奏技術のレクチャーや演奏間の姿勢、練習方法など、細部にわたる指導を行い、学生の演奏技術の向上に貢献した。



これまでの70年にありがとう



観閲式



訓練展示

今津駐屯地(司令 足立2佐)は12月4日(日)、「今津駐屯地創立70周年記念行事」を開催した。記念行事では、観閲式、訓練展示、装備品展示、戦車体験試乗などが行われた。訓練展示では複数の戦車、装甲車が地響きを立てながら登場、統制のとれた戦車の同時射撃を披露して部隊の精強さを示した。一般の来場者からは「74式戦車の活躍が見れて嬉しいです」「迫力が凄くカッコよかったです」等の声が聞かれ、記念行事は盛会のうちに終了した。

近畿の守り人

「命をつなぐ献血運動」

福知山駐屯地曹友会は、福知山城や戦没者等を慰霊する平和墓地の清掃等、毎年、様々なボランティア活動を行っている。その中でも献血運動は昭和43年から54年間も続く活動で、今まで延べ14,361名の隊員が約5,800リットルの献血を行ってきた。

今回は福知山駐屯地曹友会長の富田曹長に話を聞いた。

福知山駐屯地では年に数回献血運動を行っており、隊員たちは業務の合間を縫って献血に参加している。

冬場は全国的に献血量が少なくなる傾向にあるため、なるべく多くの隊員が献血に参加できるように日程を調整し、毎年年末から年始にかけて「100リットル献血運動」を行っている。

この運動では平成20年度から9年連続で1回当たりの献血量100リットルを達成しており、曹友会の地道な声かけと、隊員たちの「社会に貢献したい」という気持ちが折り重なった結果が表れたのだろう。

こうした活動の積み重ねにより、福知山駐屯地は「京都府内における最大の献血への協力団体」と認識され、平成21年の厚生労働大臣をはじめ、日本赤十字社など様々な感謝状を受賞している。また、コロナ禍で全国的に血液が不足するなか、令和3年1月には111リットル、12月には130リットルもの献血を行い、地元新聞やテレビで紹介された。

富田曹長は、本誌取材の最後に「隊員一人一人の『何か人のために役に立ちたい』という気持ちが大切。こういった気風が福知山駐屯地の隊員たち全員に広まって欲しい」と語った。

◇

今冬もまた「100リットル献血運動」が行われる予定である。福知山駐屯地の隊員たちは、これからの献血運動を通して「社会との絆」を深めていく。



献血に協力する若年隊員

3Dレディー

「強い女性自衛官に」



第3通信大隊第2中隊
陸士長 平澤 早希

今回は、第3通信大隊第2中隊に所属する平澤 早希（ひらざわ さき）士長へのインタビューです。平澤士長は、和歌山県西牟婁郡出身、令和3年3月に入隊し、明るく素直で、何事にも積極的に取り組む明朗活発な隊員です。

Q 入隊の動機は。

A 学生時代にたくさんの方に助けられた経験があり、人の為になる仕事がしたいと考え入隊しました。

Q 部隊の魅力・やりがいは。

A 一人一人が苦労した分、通信が繋がったときにやりがいを感じます。

Q 心に残る経験は。

A 師団通信訓練で初めて通信手をしたことです。その際、電波発射等、普段経験できないことを教育していただき、多くの事を学べたことが印象に残っています。

Q 尊敬する人は。

A 営内班長の福本3曹です。女性でありながら部隊格闘指導官の特技を保有し、体力検定は1級、服務面でも親身な後輩指導をしていただいております。

Q 趣味は。

A 体を動かすこと全般です。

Q 今後の目標は。

A 陸曹になり、部隊で貢献することです。

Q 最後に一言

A 強い女性自衛官になり、第3師団を盛り上げます。

ただ今奮闘中

「幹部人生の朝ぼらけ」



第37普通科連隊第2中隊
3等陸尉 相澤 丈

第37連隊第2中隊に所属する相澤 丈（あいざわ じょう）3尉へのインタビューです。相澤3尉は、神奈川県出身の24歳、明るい性格で小隊をまとめる注目の若手幹部です。

Q 入校時期・期別は。

A 令和2年3月に一般幹部候補生として入校しました。期別は20Bです。

Q 幹部になったきっかけ（動機）は。

A 人として強くなりたい、自衛隊を更に精強化したい、との想いから幹部自衛官になる意思を固めました。

Q どのような業務をしているか。

A 小銃小隊長として隊員を指揮し、各種訓練・服務面の指導をしています。

Q 幹部任官後、最も苦労したことは。

A 小隊を統率する事です。新しい情報が次々と流れてきて分からないことが多く苦労しました。まだまだ青二才の私ですが、小隊をまとめられるよう努力します。

Q 幹部としてやりがいを感じる時は。

A 複雑な内容のことも、私の企図や要望を隊員が理解して、必要な準備を自ら行ってくれることが嬉しいです。

Q 幹部になって何か変化は。

A 陸上自衛隊という大きな組織の中で、求められる自分の在り方について、以前より強く考えるようになりました。

Q 部隊等の隊員に一言

A 明るくて面白い37連隊が大好きです。これからよろしくお願いします！

趣味あい

「バイク」



第3特科隊第2中隊
陸士長 奥田 寛楽

今回は第3特科隊第2中隊に所属する奥田 寛楽（おくだ かんがく）陸士長の趣味である「バイク」を紹介します。

高校3年生の頃にバイクの免許を取得して、現在までのライダー歴は約3年になります。

バイクを始めたきっかけは、友人が乗っていた影響もありますが、一番はYouTubeの動画を見ていてバイクの楽しさを知り、自分も始めようと思いました。バイクは車に比べるとやや危険な乗り物ですが、車には無い楽しい事がたくさんあります。

例えば、全身で風を感じたり、ツーリングをしていて道の駅などで休憩をしていると、他府県のバイク乗りの方と仲良くなったりと、バイク乗りの輪が広がることがあります。私がバイクをオススメするポイントとは、身体を使ってバイクを操り、そして風を感じながら色々な場所へ連れて行ってくれることが何よりの魅力だと思っています。

みなさんもバイクの免許を取って、色々なところに行ってみてはいかがでしょうか。



自慢の愛車と



1 鳥居正面

2 金運アップのお守り

○所 在 地 京都府京都市中京区押西洞院町614

○参拝時間 終日可(授与所は10:00~16:00)

○駐 車 場 なし

京都府

2府4県

近畿の

このコーナーでは
知っているようで
あまり知らない
近畿2府4県の
観光スポットを
紹介します。

旅

「御金神社」

☆金運上昇のパワースポット☆

今回は、京都府京都市に所在する「御金(みかね)神社」を紹介します。御金神社は、京都市内中心の二条城や御所に近い街の中心部に位置し、金属と鉱物の守り神である「金山毘古命(かなやまひこのみこと)」をお祀りしています。黄金に輝く鳥居は京都の老舗金箔会社が手掛けており、屋外でも色褪せることなくその輝きを放ち続け、金運、招福、商売繁盛など、金運にご利益があるパワースポットとして、全国各地や国外からも多くの参拝者が訪れています。境内にある樹齢200年を超える御神木の銀杏は、京都市内有数の大樹で、御金神社の授与所には、ちりめん職人が一つ一つ手作業で作る『いちよう守り』『ぎんなん守り』などがあり、特に金運アップに関するお守りがとても人気です。何かと出費の多くなる年末年始ですが、ふとこころが温まることを信じ参拝してみたいかがでしょうか。なお、訪れる際には、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、しっかりと対策して訪れることをおすすめします。



職場の マメ知識

「ちいさなこと」著・ジョシユア

8月からスタートした「職場のマメ知識」も板についてきた今日この頃です。今回の挿絵は、友人に依頼して特別に描いてもらいました。モデルになっているのは、世界でも北海道にしか生息していない「雪の妖精」の異名をとるシマエナガという小鳥です。モフモフして愛くるしい姿が今や大人気となり、様々なグッズ等が販売されています。雪の中で活動しているため、足がしもやけや凍傷にならないのかという疑問がふと頭をよぎりました。



寒冷地で活動する鳥は素足のまま水辺や雪の上で平気な顔をして行動しています。ヒトの場合、同じことをすればたちまち凍傷になってしまいます。これらの鳥の秘密を探れば、我々の冬季の作戦行動における凍傷予防の新たなヒントが見つかるかもしれません。さっそくあれこれ調べたところ、寒冷地に生息する鳥の足は、丈夫な皮膚に加え「ワン

ダーネット」といわれる動脈と静脈がからみあう特殊な構造の血管によって、体温を下げず、かつ、凍傷になりにくいそうです。凍傷にならないためには、外気からの影響を受けにくくして血流を止めないことが重要であることがわかりました。

ヒトの場合、外気に触れ易い手、耳、鼻、頬などは凍傷にかかりやすいとされています。従来通り、凍傷防止は、体力をつけ、適切な装備に身を包み、汗等で濡れればこまめに交換するといった小さなことの積み重ねが大切です。

「小さなことができないけれど、大きなことはできない」これは、私が小隊長だった時の連隊長の言葉です。

来年も良い一年となるように小さなことをコツコツと積み重ねていきましょう。



第3師団ホームページでは、過去の3師団だよりや、開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！

Twitter(ツイッター)も更新しているので、是非遊びに来てくださいね！

【QRコード】



ホームページ



Twitter



マスク着用

ソーシャル・イタンス

陸上自衛隊 第3師団

TEL 072-781-0021

TOP PAGE トップページ

INTRODUCTION 第3師団の紹介

DIVISION COMMAND 第3師団長の紹介

ACTIVITY CONDITION 活動状況

PR MAGAZINE 広報誌「師団だより」

HP LINK 師団長室、駐屯地等HP

EVENT INFORMATION イベント情報

PHOTO CONTEST 師団フォトコンテスト作品集

ACCESS アクセス

TOPICS

NEWS

- 令和4年12月5日 第3師団広報誌「師団だより160号(11月号)」を更新しました。
- 令和4年10月31日 第3師団広報誌「師団だより159号(10月号)」を更新しました。
- 令和4年9月30日 第3師団広報誌「師団だより158号(9月号)」を更新しました。

方面隊統制演習場秋季整備(安全杭を塗装する隊員)

Q & A